

# 戦 評 用 紙

平成25年度関東高等学校女子バスケットボール大会

第67回関東高等学校バスケットボール選手権大会

平成25年5月17日

会 場 越谷市立総合体育館

Fコート第2試合

対 戦 東農大三 高校 17 - 17 白岡 高校

—  
—  
—

第1P 両チームとも勝てば久しぶりの関東大会出場となる対戦。お互いハーフマンツーマンディフェンスでスタートする。序盤硬さが見られ、外のシュートは入らない。白岡は無理なシュートが続くも、#16がリバウンドを頑張り、シュートの後処理で繋ぐ。農三もゴール下を#5が踏ん張り、リバウンドシュートや合わせで得点する。白岡は#6の連続3pシュートで引き離そうとするが、農三は淡々と#5を中心にパスを散らし、全員で得点を取っていく。17-17の同点で終了。

第2P お互いディフェンスでプレッシャーを強め、相手のミスを誘い、ブレイクに繋げる。白岡は#16#7の個人技で攻めようとするも、ことごとくリングに嫌われる。#10#6の3pで何とか繋ぐも、農三に速攻を出され、点差が広がっていく。残り2分、農三#12の速攻が出たところで白岡がたまたまタイムアウト。しかし体制変わらず37-29農三リードで前半終了。

第3P 後半に入り、お互い波に乗れないまま時間が過ぎていく。農三は#4が2本の3Pシュートを決めると、白岡も#4が3pのバスケットカウントで返す。10点前後の点差そのままゲームは流れ、残り2分、白岡小藤コーチお得意のUCLAカットオプションでのバックドアップレイが決まると、ビックセンター2枚を投入し、2-3ゾーンに変えてゲームを動かす。53-44で終了。

第4P 農三は白岡のゾーンに対して攻めあぐみ、白岡はその間に#18#16のビックセンターがゴール下を制し、一気に3点差まで詰め寄る。しかしここで農三を救うのがルーキーの双子#10#12であり、外2本と中へのドライブ、合わせで繋ぐ。そして大事な場面で#4が3p含む連続得点で引き離しにかかる。農三#4がこの日4本目の3pを決めたところで残り2分白岡のタイムアウト。白岡はフルコートのゾーンプレスを仕掛け、追いかけるが、落ち着いてボールを回し、終始リードを保ってゲームコントロールした東農大三が6年ぶりの関東大会出場を果たした。3ピリ終盤にベンチが動き、勝負に出た白岡であったが、逆転するまではいかなかった。78-56農三勝利で終了。

(記録者： 草加西高校 伊澤 暁 )